



川柳の時間

2023.01.27

お題「茶」



難逃れ朝の緑茶に気をつかい (紫つゆ草)

茶柱の向こうに僕の福の神 (川越イモ)

茶を注ぐ急須に添えた手に惚れる (鈴木則子)

喧嘩後の火傷しそうな熱いお茶 (アカエタカ)

一服のお茶で夫と通じ合う (やんちゃん)

おいお茶も無言で急須突き出され (ゆき)

花に水まめでも妻はお茶入れず (陽気もん)

おーいお茶炬燵で妻が呼んでいる (なるほどマン)

母さんの機嫌が分かるお茶の濃さ (もふもふ)

じいじいは風呂で茶を飲む変わり者 (桐山榮壽)

乱戦に終止符まずはお茶にする (まさやん)

「淹れて」から「淹れた」に変わるお〜いお茶 (まこっちゃん)

初手お茶は新聞を読む前にする (なみ)

茶柱は立てるが夫は立たせない (きなこもち)

福寄せ雛福茶一服おもてなし (ひかり)

絶やさない笑顔で茶寿を目指す母 (水谷裕子)

お茶会に出てきたお茶はペットの茶 (旭のかずちゃん)

コーヒーと日本茶好きが押し問答 (働き蜂ちえちゃん)

待ち合わせ昔は喫茶今はカフェ (横ちゃん)

一人旅連れはバックのおーいお茶 (清風)

縁側に猫と渋茶あればよい (茶々丸)

入れ歯でも食後の緑茶歯磨きに (はづき)

癒された気持ちになったハーブティ (けい)

耳たぶにお茶の熱さを直訴する (山登爺)

お茶誘い首を振られた事は無い (北村幽芳)

一寸お茶サボりじゃないよ商談さ (岩窟王)

おだてられお茶当番をやらされる (一步)

お茶をたてあらためて知るわびとさび (ストリートゼロ)

青い目を白黒させる躍り口 (宮本彩太郎)

やる気なく話をそらしお茶濁す (甲機)

何度でもお茶淹れようと母の家 (フクラギ)

本を読む形で眠る喫茶店 （翔のんまな）

お茶がらに最後のつとめ置掃く （宮のふみ）

治る日が来るとお茶でも治る風邪 （おさ虫）

粗茶ですと煎茶出す茶番 （横山閲治郎）

茶まんじゅう一つ貰って上機嫌 （だんでらいおん）

子は巢立ち夫婦ふたつの茶碗蒸し （ふかえり）

いつからか消えたおいらの飯茶碗 （フォーマー）

お茶請けにポリポリで合うお漬物 （鈴木正実）

返答はお茶を濁して闇のなか （春爺）

箱書きが決め手高値がついた茶器 （颯爽）


お弁当絶対旨い茶色系 （ついにジー）


横文字のブラウンなんてピンと来ぬ （うどん人）


プレミアのあった白Tいま茶色 （恋するサボテンちゃん）


そろそろか甜茶の季節やって来る （うめママ）

雪下ろし手伝う茶髪頼もしい （祥太郎）

 ひろこ賞：純喫茶いまも来ぬ人待っている（三太郎）

 美咲賞：お茶でもと誘っただけで五十年（かきくけ子）

 月間賞：やんちゃん

 今週の温泉川柳：宿戻り「あああ」が連鎖するお風呂（大場泰三）

今週もたくさんの投句ありがとうございました。

次回の放送は **2023.02.03（金）** です。

お題は「 **風** 」またの参加をお待ちしています。